

3-5 佐藤 允洋
『いっぺんさん』

朱川湊人著(実業の日本社)

白くて綺麗な石を見つければ、一度だけ願いを叶えてくれる“いっぺんさん”。祖母から聞いたこの話を信じて、少年は友人といっぺんさんを探します。友情や人への思いやりが書かれた不思議な物語です。



3-7 池田 佳祐
『とある魔術の禁書目録』

鎌池和馬著(電撃文庫)

超能力が化学によって解明された世界。巨大な学園都市に住む高校生上条当麻の前に純白のシスター・インデックスが現れた。魔術と科学の間で戦う主人公を中心とした様々なキャラクターのテンポのいい会話がお薦めです。



3-7 大森 千愛
『一瞬の風になれ』

佐藤多佳子著(講談社)

高校の陸上部を題材にした青春小説で、友情や才能への嫉妬や葛藤が描かれ、主人公達のまっすぐさや頑張る姿は魅力的です。友達や仲間の大切さを実感す

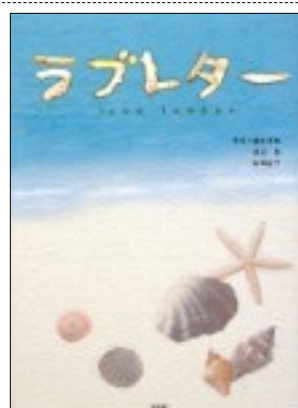


るし、笑えて泣ける、そんな清々しい気持ちになれます。

3-8 石井 遼
『山月記・李陵』

中島敦著(岩波書店)

このお話は「古潭」の中の一冊で教科書にも掲載されています。虎になってしまう男の話はとて有名で独自の文学世界が築かれています。すごく考えられるお話なのでぜひ読んでみて下さい。



3-6 高野 はるか
『ラブレター』

藤井清美著(汐文社)

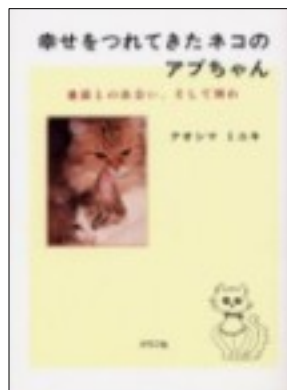
主人公の美波という耳の聞こえない女の子が小豆島という小さな島に行き、そこで出会った海司という男の子と恋をしていく話です。手話を通して、お互いが惹かれあっていくところがとても感動的です。

3-6 会沢 歩華

『幸せをつれてきたネコの阿布ちゃん』

アオシマミユキ著(グラフ社)

作者であるアオシマミユキさんの愛猫の阿布ちゃんとの出会いから別れまでをつづったノンフィクションの本です。阿布ちゃんの他にもいろんな動物の話があります。動物好きな人には読んでほしいです。



3-8 飯村 芽未
『王様ゲーム』

金沢信明著(双葉社)

0時00分に必ずくる王様からのメール、本文にはゲームの内容が書いてあり従わなかったら罰が与えられる。王様は一体誰なのか、クラス全員の命をかけたゲームが始まる、ホラー小説です。



3-9 鈴木 見佑希
『ハッピーバースデー』

青木和雄著(金の星社)

アスカは母から兄と比べられ育った。容赦ない言葉を浴びせる母親のせいで言葉を失うアスカ。親子の再生の物語。誕生日を祝って欲しかったアスカがやっと母と一緒に誕生日を迎えられた場面が感動です。



3-5 鈴尾 彩香
『ガールズブルー』

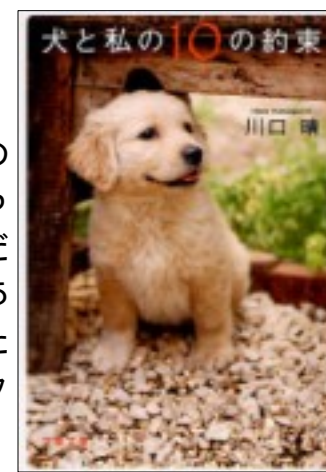
あさのあつこ著(文芸春秋)

落ちこぼれ高校に通う3人の女子高生の物語。失恋に落ち込む理穂、病弱な美咲、優秀な兄にコンプレックスを持つ如月...。様々な問題を抱えながら精一杯生きていく3人に同じ高校生の私たちなら必ず共感できます。

3-9 藤田 佳那子
『犬と私の10の約束』

川口晴著(文藝春秋)

あかりが12歳のとき、子犬のソックスがやってきた。亡くなった日にかわした約束を果たせるだろうかという感動の物語です。あかりの手の中で、足が少し動いたり微笑んでみえたりする、ソックスが亡くなる場面では泣けます。



今回は2年生の紹介です